



- ①よさを伸ばし合う子ども
- ②つながりを大切にする子ども
- ③自らとふるさとを拓く子ども



ご参加ありがとうございました

～令和6年度 2学期末PTA～



12月6日(金)のPTA授業参観と学級懇談には、たくさんご参加いただきありがとうございました。今年は、インフルエンザによる学年閉鎖に見舞われた2学期でしたが、最後まで安全な生活を意識させて、冬休みを迎えさせたいと考えております。

家庭と学校が協力することが、子どもをよりよい方向に導いていくことにつながるものです。ご家庭で何か気になることがありましたら、学校にご連絡ください。

2～5年 通常の授業参観



【2年】算数 かけ算

箱の中のチョコレートが全部で何個あるか考えています。これまで学習した方法を使いながら、3通りの方法で求めました。



【3年】図工 のこぎりザクザク つないでつづけてのこぎりの安全な使い方を確認し、木材を様々な形に切ることに挑戦。切る回数を経るごとに、扱いが上達していきました。



【4年】算数 変わり方に注目して調べよう 時計盤の表と裏の針が差す時刻には、どんなきまりがあるのかを、表を活用しながら考えています。



【5年】体育 跳び箱 タブレットで自分の技の出来具合を確認することで、ポイントを意識した練習につながり、技術の向上に役立っていました。

1年 「給食試食会」 & 「食育教室」



栄養教諭の佐藤紀美子先生をお招きしました。保護者向けの給食試食会と食育教室では、食の安全や子どもの栄養に配慮した取組について理解を深めました。

授業では、元気な体をつくるための食事の大切さについて、子どもたちは熱心に話に耳を傾け、元気に反応していました。

6年 「命の授業」



三種町「助産院こころ」の小林かおり院長をお招きして、命の大切さについて授業をしていただきました。

砂つぶくらいの大きさの命が子宮の中で赤ちゃんに成長していく様子や、出産等を通して命がとても尊いものであることを語っていただきました。

人権教室

～みんなのしあわせのために～

12月12日(木)



4年生対象の人権教室があり、講師の大高幸美さんほか、9名の人権擁護委員の方々が来校しました。これは、いじめ等の人権問題について考える機会をすることによって、子どもたちが相手を思いやるとともに、心や生命の尊さを体得することなどを目的として、実施されているものです。

電子紙芝居で人権に関わるお話を見た後、みんなと仲良く、楽しく、幸せに過ごすために大切なことについて、みんなでお話を出し合いました。

積極的に意見交流し、自分の考えをしっかりと発表することができました。自他の生き方について考える貴重な時間となりました。



安全な冬休みを！ 12月9日(月) 地区児童会

P.T.A.校外指導部員の方々にも参加していただき、冬休みを安全に過ごすための約束事や地区の危険箇所などの確認を行いました。

冬休みまで、あと12日です。安全で楽しい冬休みを過ごしてほしいと思います。



入賞者・表彰者の紹介

おめでとうございます

能代山本年刊詩集「たろっぺ」

- | | | |
|-----------------|------------|------------|
| 【入選】 1年 山口 あこさん | 3年 小山 楓さん | |
| 【佳作】 1年 石山 怜羽さん | 1年 小林 咲良さん | 2年 須藤 碧生さん |
| 3年 成田 彩莉さん | 4年 吉村 駿佑さん | 4年 工藤 修太さん |
| 5年 難波 日菜さん | 5年 日沼 玖愛さん | 5年 原田 苺衣さん |
| 6年 金田 紗幸さん | 6年 高橋 美緒さん | |

秋田県児童生徒美術展

- | | | |
|-----------------|------------|------------|
| 【入選】 1年 小林 咲良さん | 3年 岩城 陽太さん | 3年 武田 恵菜さん |
| 4年 菊地 大慥さん | 4年 田森 結美さん | 5年 須藤 碧恩さん |



今週の1枚

12月12日(木)、図書委員が1、3年生に読み聞かせを行いました。2年生には、5年生の岡優陽さんと菊地桃さんが「すいか」の読み聞かせを行いました。読み終わった後には、2年生からたくさん感想発表がありました。表がなくなると、5年生の満ち溢れた笑顔に感動しました。



つぎ

二〇二四年 今年の漢字は…

12月12日、日本漢字能力検定協会が全国から募集した『今年の漢字』に、「金」が決まりました。みなさんはこの「金」から今年のどんな出来事をイメージするでしょうか。皆さんそれぞれに今年の漢字があると思います。私の今年の漢字は、「闇」。

国内を見ると、闇バイトによる犯罪の増加、元日の能登半島地震や9月の能登豪雨の被害からの復旧の遅れは長期化し、未だ光が見えない状況。

世界に目を向けると、ロシアのウクライナ侵攻などの国同士の対立、各国の政情不安など、いつ何が起ころうか分からない、まさに「一寸先は闇」。

「闇」は、暗い世相を反映しているイメージで、年の瀬に気持ちも暗くなってしまうがちですが、捉え方を変えると少し違ってきます。

連日の大谷翔平選手の活躍は、世の中の暗いニュース・話題を闇に埋もれさせてしまうほど私たちのモチベーションを上げてくれました。何事も、ものは考えようです。今年より来年はもっとよい年になるはず、よい年にしよう自分自身に言い聞かせながら、新年を迎えたいものです。

とはいえ、まだ今年の残日は18日。まずは、本校の児童・職員が無事に二〇二四年を終えられるよう、気を引き締めていきたいと思っています。

